

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科						
科目名	基礎ゼミⅡ(A)						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	1年次後期		
必修・選択の別	選択(組込みシステムコース)/選択必修(電気エネルギーコース)/選択(情報システムコース)						
担当者	五反田 博、中野 吉正、喜屋武 毅、白土 浩、松崎 隆哲						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気電子情報通信工学分野の発展を知り、技術社会における位置づけを認識できる(A9) ・電気電子情報通信工学分野の技術発展に関する授業内容を要約し、提示された課題について追加調査できる(A4,A10) ・授業内容の要約と追加調査した内容について報告書を作成し、わかりやすく説明するとともに、課題や問題点を抽出できる(A4,A10,C1) ・電気電子情報通信工学分野の歴史と組込み技術の位置づけを知り、今後の発展を探ることができる(B6,C6,C7) 						
日程と内容	第1回 : 09/18 : 自己点検 第2回 : 09/25 : チームの理解 第3回 : 10/02 : プロジェクト1 第4回 : 10/09 : プロジェクト1 第5回 : 10/16 : プロジェクト1 第6回 : 10/23 : プロジェクト2 第7回 : 10/30 : プロジェクト2 (要素技術) 第8回 : 11/06 : プロジェクト2 (工程表) 第9回 : 11/13 : プロジェクト2 (プレゼンテーション作成) 第10回 : 11/20 : プロジェクト2 (プレゼンテーション準備) 第11回 : 11/27 : プロジェクト2 (プレゼンテーション) 第12回 : 12/04 : プロジェクト2 (プレゼンテーション) 第13回 : 12/11 : ロジカルシンキング1 (問題抽出) 第14回 : 12/18 : ロジカルシンキング2 (問題解決) 第15回 : 01/15 : ロジカルシンキング3 (総括)						
成績評価基準	定期試験			実技	100%		
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題 演習			計	100%		
授業到達目標の達成度	ほとんどの学生が真面目に出席し、授業内容(実習)をよく成し遂げたので、合格したし、授業到達目標を達成したといえる。一部、欠席が多い学生については、成績評価も合格点に到達できなかった。						
反省点	当初の授業目標(シラバス)の内容は、前期の「基礎ゼミⅠ」に変更し、「基礎ゼミⅡ」では、平成28年度カリキュラムから開講予定の「科学的問題解決法」に沿った内容を実施することにした。授業実施方法の詳細が未定のため、毎回の授業内容を受けて次の内容を定める結果となった。趣旨は、「チームワーク」を身につけることと、「ロジカルシンキング」の手法を身につけることであった。						
来年度の計画	今年度の実施内容をもとに、来年度のシラバスを決めた。内容はほぼ同じだが、テーマの実施順序を変更した。						
授業評価アンケートに対するコメント	評価の低い項目について ・授業内容の理解: 3.8授業の全体像を当初示すことができなかった点を反省する ・授業内容への興味: 3.6/チームで活動すること、能動的に行動することを求められるが、この点が受動的な受講態度に慣れている学生にとって、違和感があったかもしれない。 ・予習・復習: 3.2/本来、予習・復習はあまり求めないので評価は妥当。						
履修登録者数	38名	定期試験 受験者数	38名	合格者数	36名	合格率	95%